

# 令和4年度事業報告

自：令和4年4月1日

至：令和5年3月31日

本協会は、会員の生産する物産を広く紹介・宣伝することにより、販路の拡大および本県産業の振興に寄与するため、諸般にわたり事業活動を行っているが、令和4年度に実施した事業の概要は次のとおりである。

## 1. 各種会議の開催

### 令和4年度各種会議開催状況

年月日	名称	会場	議題
令和4年 6月8日	第1回理事会	鳥取商工会議所	1. 令和3年度事業報告 2. 令和3年度収支決算見込み 3. 令和4年度事業計画 4. 令和4年度収支予算 5. 理事の選任について
6月24日	令和4年度定時会員総会	鳥取商工会議所	1. 令和3年度事業報告 2. 令和3年度収支決算見込み 3. 令和4年度事業計画 4. 令和4年度収支予算 5. 年会費について 6. 役員の報酬額について 7. 新任役員の選任について
令和5年 3月16日	第2回理事会	鳥取商工会議所	1. 令和4年度事業実績について 2. 令和5年度事業計画、収支予算について 3. 報告事項（役員の選任状況について）

## 2. 物産の紹介及び宣伝に関する事業

### (1) 物産展の開催・参加

本県産業の認知度を高め、併せて消費動向を調査するため、県内外で物産展の開催に努めた。また、各種団体が主催する催しに積極的に参加し、本県産業の紹介宣伝に努めた。

### (2) 新規物産展開催に向けて、百貨店への営業活動を実施した。

鳥取県物産協会運営費補助金（販路開拓を推進する営業活動担当職員及び活動経費への補助事業）を活用した、

### (3) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止する物産展やイベントもあったが、年度後半には感染縮小の兆しもみられ、全国旅行支援制度に関連した業務も発生した。

## 【令和4年度の特記事項】

- 1 新型コロナウイルス感染症対策のため、物産展の開催自粛が見られた。
- 2 年度後半には。コロナ感染縮小の兆しもみられ、ヒト、モノの動きの活発化に伴う新規需要も発生した。

### 令和4年度各種物産展開催・参加状況

	月次	期間	日数	催事名	会場	備考
1	5月	5/18～23	6日間	鳥取フェア	山陽百貨店	
2	8月	8/26～27	2日間	鳥取マルシェ	松坂屋高槻店	
3	8月	8/31～9/6	7日間	鳥取・島根フェア	大丸神戸店	
4	8月	8/31～9/6	7日間	鳥取フェア	三越銀座店	
5	9月	9/7～13	7日間	鳥取フェア	大丸梅田店	
6	9月	9/9～11	3日間	鳥取県民の日フェア	イオン鳥取北店	新規
7	9月	9/30～10/1	2日間	鳥取マルシェ	松坂屋高槻店	
8	10月		7日間	鳥取フェア	伊勢丹立川店	コロナ感染防止の為中止
9	10月		7日間	鳥取フェア	三越日本橋本店	コロナ感染防止の為中止
10	10月	10/28～29	2日間	鳥取マルシェ	松坂屋高槻店	
11	11月	11/16～22	7日間	鳥取フェア	高島屋堺店	
12	11月	11/23～29	7日間	鳥取フェア	大丸芦屋店	
13	12月	12/9～10	2日間	鳥取マルシェ	松坂屋高槻店	
14	1月		7日間	鳥取フェア	伊勢丹浦和店	コロナ感染防止の為中止
15	2月	2/2～7	6日間	ふるさと特産品まつり	一畑松江店	

※ 計画15件のうち、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったもの3件

### 令和4年度各種大会における出店参加状況

	月次	期間	日数	催事名	会場	備考
1	4月	4/9～10	2日間	OAP4さくらまつり	大阪市北区 OAP	
2	4月	4/21	1日間	3県合同販売会	久屋中日ビル	名古屋
3	5月	5/28～29	2日間	中四国9県観光物産展	箕面キューズモール	
4	6月	6/11～12	2日間	鳥取県産スイカPR	宝塚北SA	
5	6月	6/25	1日間	鳥取県観光と物産展	三井アウトレットパーク鶴見	
6	6月	6/30	1日間	3県合同販売会	久屋中日ビル	
7	7月	7/15～16	2日間	中央区にぎわいスクエア	大阪・道頓堀	
8	9月	9/18	1日間	酒と食文化で結ぶ鳥取と京都	京都産業大学	
9	9月	9/23～25	3日間	中四国9県観光物産展	あべのキューズモール	
10	10月	10/9	1日間	中国5県JAFイベント	ジアウトレット広島	
11	10月	10/15～16	2日間	鉄道の日記念イベント	JR王寺駅	奈良県
12	10月	10/17	1日間	クルーズ客船イベント	鳥取港(1号岸壁)	「ぼしふいつくびいなす」来港
13	10月	10/25	1日間	3県合同販売会	久屋中日ビル	
14	11月	11/4～5	2日間	藤花祭(大学祭)	京都女子大学	
15	11月	11/12～13	2日間	道頓堀リバーフェスタ	大阪・難波駅前	
16	11月	11/19～20	2日間	ゲゲゲ忌イベント	調布駅前広場	
17	11月	11/29～12/2	4日間	14県合同ふるさとフェア	名古屋・金山駅	
18	11月	12/15	1日間	関西広域連合販売会	大阪・新ダイビル	
19	11月	1/15	1日間	全国対抗女子駅伝	京都西京極競技場	

20	3月	3/17	1日間	3県合同販売会	久屋中日ビル	
21	3月	3/24~25	2日間	OAP4さくらまつり	大阪市北区 OAP	

### 3. 物産販路開拓支援業務に係る鳥取県からの補助事業

#### (1) 物産展事業

##### ○業務内容

- ・県と協働で行う物産展に係る百貨店等との打ち合わせ、口座開設、出展者募集、出展者との調整、レイアウト、チラシのとりまとめ、搬入搬出作業、期間中事業者支援、精算作業等を行った。
- ・その他、小規模イベントでの物産販売等を行った。

#### (2) 販路開拓事業

##### ○業務内容

- ・**企業訪問等による商品掘り起こしと販路開拓の手法等のアドバイス**  
百貨店・スーパー・出店等、鳥取県フェアで催事出展の経験の浅い事業者へ個別のアドバイスをおこなった。特に買いやすい商品陳列や売上げを稼ぐための品揃えの充実、販促、什器等の提案など出来るだけ具体的に助言を行った。
- ・**県内物産の商品企画・開発・改良支援・協力機関の紹介**  
百貨店等での物産展の調整として、百貨店等のバイヤーやテナント業者と県内事業者とのオンライン等による商談会を設定、コロナ感染対策に配慮しつつ求められる商材や販売方法、目標数量・金額等のアドバイスを行った。
- ・**県内店舗等とのマッチング等支援**  
商談会で引き合いのあった事業者に見積書の書き方や留意点などチェックや改良支援も行った。
- ・**首都圏における販路開拓に係る調整支援**  
首都圏における事業者を派遣しての鳥取県フェアの開催については、コロナ感染を警戒した事業者側の出店意欲の減退、また物産展の現場での試飲や試食の禁止措置などがネックとなり百貨店サイドのフェア開催の条件達成が困難であったことなどから、実現に至らないものもあった。  
県産の農畜産物を主体とした鳥取フェアの開催については、三越銀座店や伊勢丹新宿本店などで実施し、協会会員数社が出店、百貨店の情報誌とも連携し、効果的な広報に努めた。  
物産フェア等の企画、卸売り業務としては、以下のものを実施した  
スーパー三徳で開催の「山陰山陽フェア」に係る卸売業務  
スーパーTANAKA 本店等4店舗で新たに鳥取県フェアを開催  
スーパーオリンピック「山陰うまいもの市場」への卸売業務  
ANA ケータリングサービスに係る機内食卸売業務は、定期路線回復に比例して受注増。  
ネット通販等への取り組み  
三越伊勢丹ふるさと納税返礼品の事業者提案  
3年度から新たな取り組みとして継続実施。  
5自治体に60超の事業者が参画、アイテム数243アイテムとなり、売り上げは前年比208%となった。  
**JTB ショッピングサイトへの提案**  
季節のフルーツの提案が前年比101%となった。  
伊勢丹ドア（宅配通販）への卸売業務では本県商品の定番化が実現した。  
東急百貨店オンラインストアは、前年に引き続き実施した。  
また、帳合業務を担当しないものの旬の鳥取産品のプロモーションに努めた。  
京王百貨店「境港の本まぐろ」解体PR、販売（6月）  
スーパー三徳「大栄スイカ」PR 販売（6月~7月）  
日本橋三越「輝太郎フェア」（10月）「松葉がにフェア」（11月）

## ・関西圏における販路開拓に係る調整支援

関西圏において百貨店での鳥取物産フェアの開催及びイベント会場において、県産品の販売を行った。

松坂屋高槻店で定期開催の「鳥取マルシェ」は今年度から梨の出荷時期と合わせ、8月の「二十世紀梨」から10月の「新高梨」「王秋梨」12月の「あたご梨」と今年度は4回実施した。

今年度の新企画として、姫路の山陽百貨店にて催事が開催された。しかし、新型コロナウイルス感染を警戒して鳥取県内から事業者の出店はなく、らっきょう、とうふちくわ、菓子、海産加工品の委託販売で実施。

3年連続して大丸神戸店へ出店。昨年同様、鳥取県だけで会場をすべて占有することができず、島根県の事業者との共同開催となった。また、大丸梅田店においても「鳥取フェア」を開催。こちらも県内事業者から出荷いただいた商品を委託販売で実施。また同時に青果売場テナントにおいて二十世紀梨、新甘泉梨、シャインマスカットなど県産果実の販売を行った。

昨年に続いて2度目となる高島屋堺店にて11月に「鳥取フェア」を開催。昨年は店舗の青果テナントが扱った王秋梨を今年は本会が販売することになり、あわせて前年同様、らっきょう、練製品、菓子などの加工品とともに販売を行った。

その他、外部会場、イベントにも積極的に参加を行い、中四国9県合同での観光物産展や大阪府、大阪市が推進する2025関西万博のPRイベントへの出店や今年度初めての試みとして鳥取県産銘酒の販売も行った。また新たな企画イベントとしては、全国対抗女子駅伝競技会場において鳥取県産品の紹介を行った。

また今年度の初めての取り組みとして、鳥取県立米子南高等学校在校生による販売実習の場として松坂屋高槻店のイベントスペースを提案し、同校が企画開発した商品の販売を生徒達自身で行い、産学共同の取り組みの支援を行った。

## ・中京地区における物産の斡旋紹介

前年に続き、鳥取県名古屋代表部が入居する久屋中日ビルにおいて4月、6月、10月、3月の計4回、石川・山形両県とともに3県合同の販売会に出店。

毎年恒例となっている金山駅で開催の13県合同「ふるさとフェア」にも引き続き出店を行い、今年度は晩成梨である「王秋梨」も販売し県産品のPRを行った。

## (3) アンテナショップ事業

### ○業務内容

#### ・企業訪問等によるアンテナショップ販売商品の掘り起こし、商品開発支援

( ) 内数値は前年実績

引続き本年度も県内事業者、農林漁業、商工業等県内事業者127(156)社を訪問し、面談の際には、まず東京アンテナショップを紹介し、続いて東京において、取扱商品の情報発信をトライしていただくよう働きかける活動を行ってきた。

各事業者の訪問と併行して、市場調査、情報収集のため県内各地の県産品の販売施設も24(25)ヶ所に出向き、「本物志向のもの、珍しいもの、面白いもの、旬のもの、新製品」等々を切り口に商品の掘起しを行い、催事出展やチャレンジ商品など消費者からの生の声を聞く機会を積極的に活用するよう働きかけを実践した。

#### ・アンテナショップ催事業務

( ) 内数値は前年実績

アンテナショップ催事出展募集、受付、関係事務処理及び催事サポート、フィードバック等127社と接触した。また、催事出展は、催事の受付及び実施を鳥取県東京本部が担当。その結果、出展件数は17(3)件となった。そのうち公的団体の出展者は4(1)件であった。

催事出展に当たっては旅費の支援によるメリットを含め各社との事前の打合せを行い、また、終了時点では情報交換を実施し次回以降の反省材料に繋げた。内容については、関

係者にも随時報告をして情報の共有化を図った。  
初出展等、不慣れな出展者には支援・指導も行った。

#### (4) 民芸事業

##### ○業務内容

##### ・民芸事業者と既存販売店舗のマッチング、フォローアップ等における販路拡大・維持支援

( ) 内数値は前年実績

民芸事業者の訪問回数・延べ 50 (44) 回、既存店舗の訪問回数・延べ 84 (87) 回、  
販路拡大のための情報収集と新しい製品・販売店・展示会等の情報交換を行った。

マッチング数：33 (2 店舗, 6 販売展示)

##### ・鳥取県伝統工芸士会事務局業務

平成 29 年度より鳥取県伝統工芸士会事務局が鳥取県物産協会に移管され、事務局業務全般、  
会計業務を行った。

- ・「第 13 回 鳥取の伝統工芸士展」の開催。(会期:令和 5 年 3 月 21 日～26 日、会場:丸由百貨店 5F、出展事業者:16)
- ・総会、幹事会、相談会等に関する書類作成 (決算予算書・事業報告計画書・議案・会報等)  
参加案内、会費の徴収
- ・関係者間の調整、資料等作成、清算業務。
- ・新型コロナウイルスの影響について - 県等によるコロナ支援案内の送付や、訪問による説明対応などを行った
- ・その他民芸に付随する業務
  - ・事業者情報・商品情報・新着情報・イベント情報等を紹介した。
  - ・各種イベント、展示会への出展支援を行った。
  - ・ホームページを活用し各民芸事業者にとって有益な情報を発信、更新した。

#### (5) 【その他県委託事業等】

##### ○ととりの逸品販路拡大支援事業

- ・鳥取フェア等に係る店舗協力費、広報費等支払い  
店舗協力費又は広報費 (物産展「鳥取フェア」等) の支払いを行った。
- ・催事等出展事業者への旅費支援金等支給  
県外で行われる鳥取県フェア等催事又は見本市等に出展する事業者に対して旅費支援また、  
マネキンによる支援を行った。
- ・見本市への出展支援事業  
FOODEX JAPAN2023 (3/7～10、東京ビッグサイト) への出展支援として、出展料の徴収やブ  
ースへの出店補助等を行った。(16 社参加)

##### ○鳥取県東京アンテナショップ機能強化事業

- ・首都圏・関西圏販路開拓支援セミナー  
令和 4 年度アンテナショップ・関西圏商品クリニック兼商談会 (オンラインで開催)  
日時 令和 5 年 2 月 10 日 (金)  
場所 鳥取県立倉吉未来中心  
参加 24 社 (前年度 30 社)

なお、例年 2 月頃に開催していたアンテナショップ報告会等については、今年度も昨年  
に引き続きコロナ禍のため実施しないこととした。

また、アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」は、公式オンラインショップを  
展開し、人気商品はもちろんのこと通常店頭にはない商品も産地直送により対応し、好評  
を得ている。

## ○ふるさと産業支援事業

### ・県外販路支援

愛媛県の工藝 ROSA にて「鳥取の手しごと展」の開催支援を行い、民芸事業者 19 社(食品 3 社)の出展を支援。約 250 名の来場があった。(会場:松山 ROSA 会期:令和 5 年 2 月 3 日～7 日、会場:大洲 ROSA 会期:令和 5 年 2 月 10 日～14 日)

## ○おいしい鳥取 PR 推進事業

- ・すいか、マグロ、梨、松葉がになど季節の産品について、関西圏、中京圏、首都圏で県において展開された販売促進活動、広報業務について人的な支援や支払業務等を行った。
- ・ピーコックストア千里中央店に設置しているトリピーショップへの販売商品の開拓、提案を引き続き実施した。

## 4. その他の事業

### (1) みんなで応援！とっとり WEB マルシェ実施事業

新型コロナウイルス感染拡大により制約を受けている県内事業者の販売機会を確保するため、インターネット上に県産品が購入できるサイトを立ち上げ、販売促進を行うキャンペーンを実施した。(鳥取県委託事業)

場所：高田商店 HP

期間：第 1 回 (8 月 1 日～9 月 30 日、出店 22 社 (35 アイテム))

第 2 回 (11 月 11 日～1 月 15 日、出店 14 社 (32 アイテム))

### (2) 食のみやこ応援セットの販売

県内事業者を応援するため過剰在庫の物産を鳥取県庁、県内銀行に向け職域販売を行った。3 回開催、延べ 11 社参加

### (3) 鉄道・航空誘客キャンペーン事業

コロナ禍で大きく来県者が減少している中、鉄道・航空を利用して来県される方を増やすため、県が観光戦略として実施したキャンペーン事業に参加した。

具体的には、JR 西日本コミュニケーションズから委託を受け、来県者に県産品をプレゼントした。(11 月 1 日から 2 月 28 日までの来県者のうち 960 名に対し、物産協会から県産品を発送。)

## 5. 会員の異動の状況

3 年度末現在	期間中の異動		4 年度末現在
	加入	脱会	
150	7	5	152